

仏事コーディネーター
資格取得者を訪ねて
BUTSUJI-COORDINATOR

大黒屋佛壇店小牧店（愛知県小牧市）

「仏事のアドバイザーを目指しています」

平田勝巳氏

大黒屋佛壇店は、愛知県内に四店舗（名古屋・尾張旭・小牧・大府）、岐阜県内に一店舗（土岐）を展開。親切丁寧な接客と誠心誠意のサービスはこれまで多くの人々に親しまれてきた。各店舗に仏事コーディネーター資格取得者が在籍しており、接客、販売、仏事相談など資格の可能性はますます拡がりを見せている。

今回、取材に御協力頂

いたのは小牧店店長の平田勝巳氏。小牧店はスタッフそれぞれが様々な業務をこなし、多忙な日々が続く。

平田氏は岐阜県出身、専門学校卒業後、求人雑誌を通じて、大黒屋佛壇店に入社、周囲の協力や自らの努力で現在に至っている。仏壇・仏具の業界は未知の分野であったが、現場の体験やガイダンスの学習などで努力を続けた。仏壇を販売する

ことについては「人生の最後のお手伝いをさせて頂くという思いで常に臨んでいます、重みを感じます」「お客様への最善のサポートを心がけています」と話す。

大須本店、大府店、尾張旭店などで勤務した後、小牧店の店長に就任。仏事コーディネーター資格を受験したのは第二回（平成十七年・ゴールドカードに更新）。先輩や上司のアドバイスや



平田勝巳氏（大黒屋佛壇店小牧店）



店舗外観（大黒屋佛壇店小牧店）



店内はモダンな雰囲気（大黒屋佛壇店小牧店）

バックアップも大きかったと過去を振り返る。名刺、新聞チラシ、ホームページに仏事コーディネーター資格のPRを行い、認知度は深まっている。「仏事を知らない人が多い中で、資格を持っていることで信用を持たれると思いますね。その信用を崩さないようにしようという自覚が働きますね」と話す。

同店の周囲は競合店も多く、仏事コーディネーター資格は差別化につながり、お客様の安心、信用の獲得につながっている。さらに仏壇公正取引協議会の加盟店である。今年には創業九十七年を迎え、全店舗で記念セールを行い、層の厚い企画サービスにますます磨きがかかる。